

---

# 參考資料

---

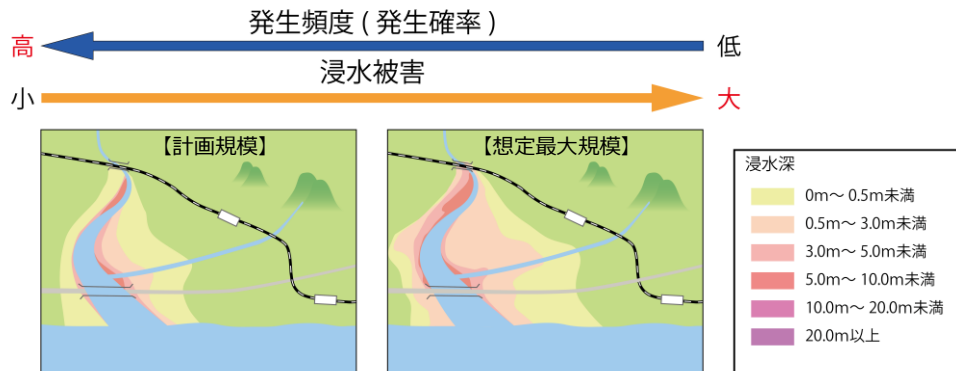
# 1. 災害に係る現況

## (1) 洪水

洪水浸水想定区域は、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、想定される最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したものです。洪水浸水想定区域図には、その区域及び浸水した場合に想定される水深等が表示されています。

洪水浸水想定区域の対象とする降雨には、想定される最大規模の降雨(1,000年に1回程度)(※以下「想定最大規模」という。)と河川整備の目標とする降雨(100年から200年に1回程度)(※以下「計画規模」という。)があります。

《洪水の発生頻度と浸水被害の関係性》



《本市で対象となる洪水浸水想定区域等》

○は本市が対象となることを表す

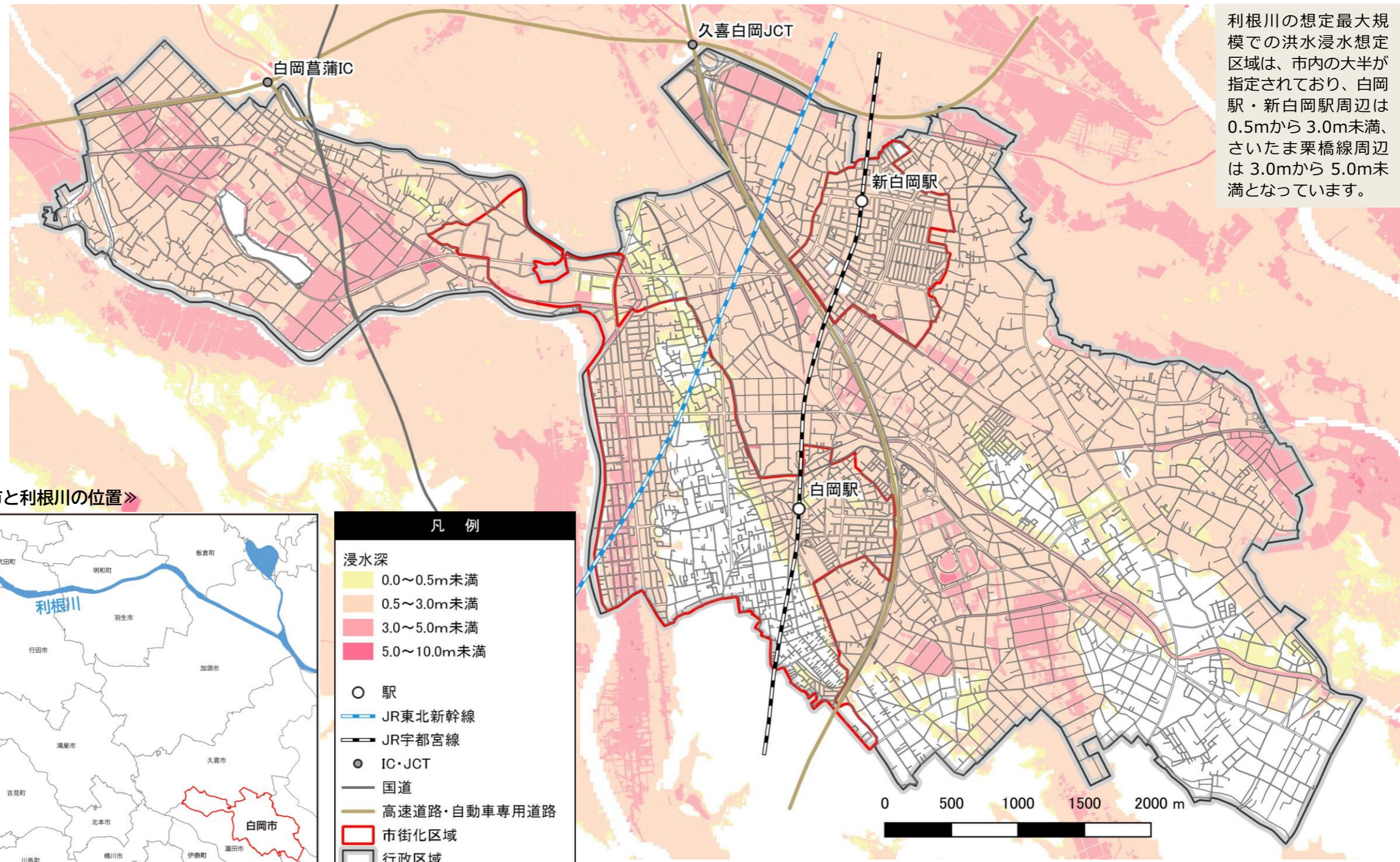
想定規模	洪水浸水想定区域等	想定降雨量	浸水深	浸水継続時間	家屋等氾濫想定区域	
					氾濫流	河岸浸食
想定最大規模	A 利根川水系利根川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm	○	○	×	×
	B 利根川水系小山川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm	○	○	×	×
	C 荒川水系荒川	荒川流域の72時間総雨量632mm	○	○	×	×
	D 利根川水系中川流域	中川流域の48時間総雨量596mm	○	○	×	○
計画規模	A 利根川水系利根川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量336mm (年超過確率1/200)	○	×	×	×
	B 利根川水系小山川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量336mm (年超過確率1/200)	×	×	×	×
	C 荒川水系荒川	荒川流域の72時間総雨量516mm (年超過確率1/200)	○	×	×	×
	D 利根川水系中川流域	中川流域の48時間総雨量355mm (年超過確率1/100)	○	×	×	×



### 1) 洪水浸水想定区域（浸水深：想定最大規模）

市内には、利根川、小山川、荒川、中川流域に関する洪水浸水想定区域等が指定されています。最も範囲の広い利根川では、市域の大半が洪水浸水想定区域に指定されており、人口が多く集積している市街化区域内も含まれています。白岡駅・新白岡駅周辺は0.5mから3.0m未満、さいたま栗橋線周辺は3.0mから5.0m未満となっています。

◀A 利根川の想定最大規模での洪水浸水想定区域▶



利根川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、市内の大半が指定されており、白岡駅・新白岡駅周辺は0.5mから3.0m未満、さいたま栗橋線周辺は3.0mから5.0m未満となっています。

◀白岡市と利根川の位置▶



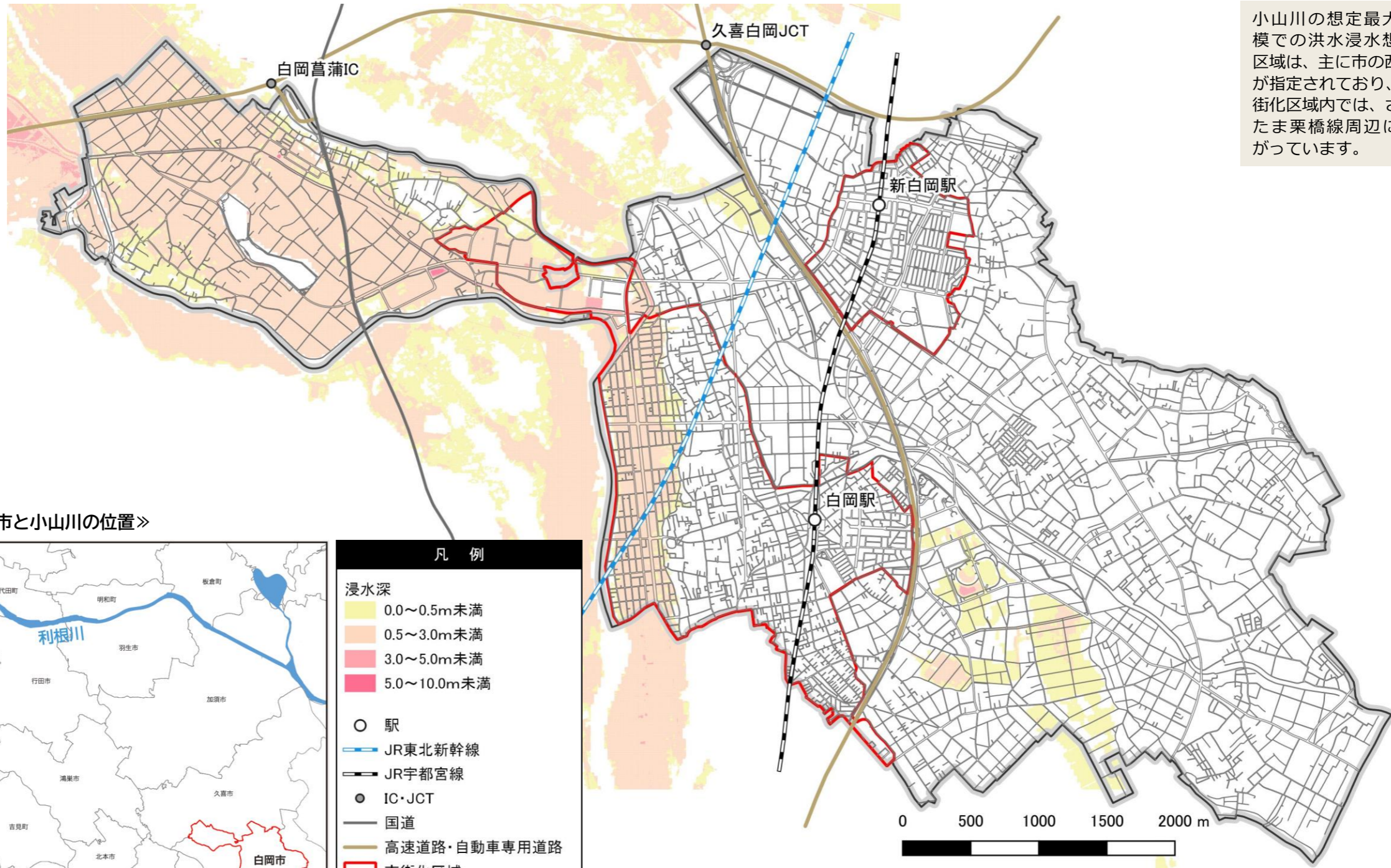
凡例	
浸水深	
0.0~0.5m未満	(Lightest color swatch)
0.5~3.0m未満	(Light orange swatch)
3.0~5.0m未満	(Red swatch)
5.0~10.0m未満	(Darkest red swatch)
○ 駅	
— JR東北新幹線	
— JR宇都宮線	
● IC・JCT	
— 国道	
— 高速道路・自動車専用道路	
□ 市街化区域	
□ 行政区域	

出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所・利根川下流河川事務所）

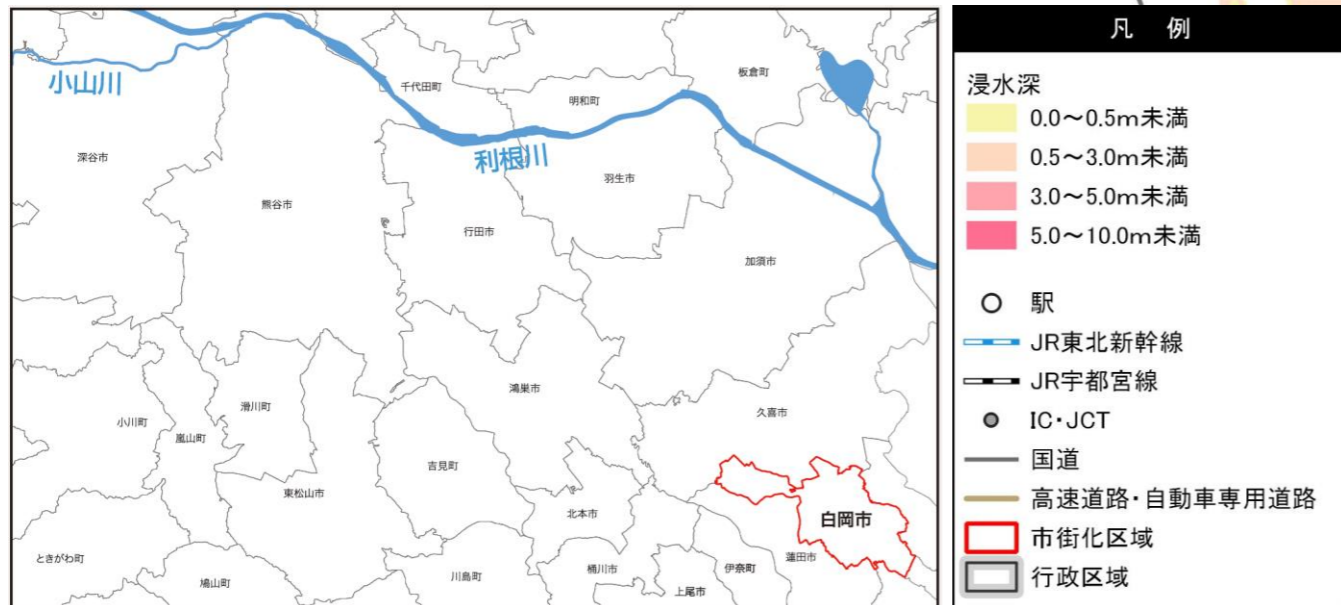


《B 小山川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



小山川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、主に市の西部が指定されており、市街化区域内では、さいたま栗橋線周辺に広がっています。

《白岡市と小山川の位置》

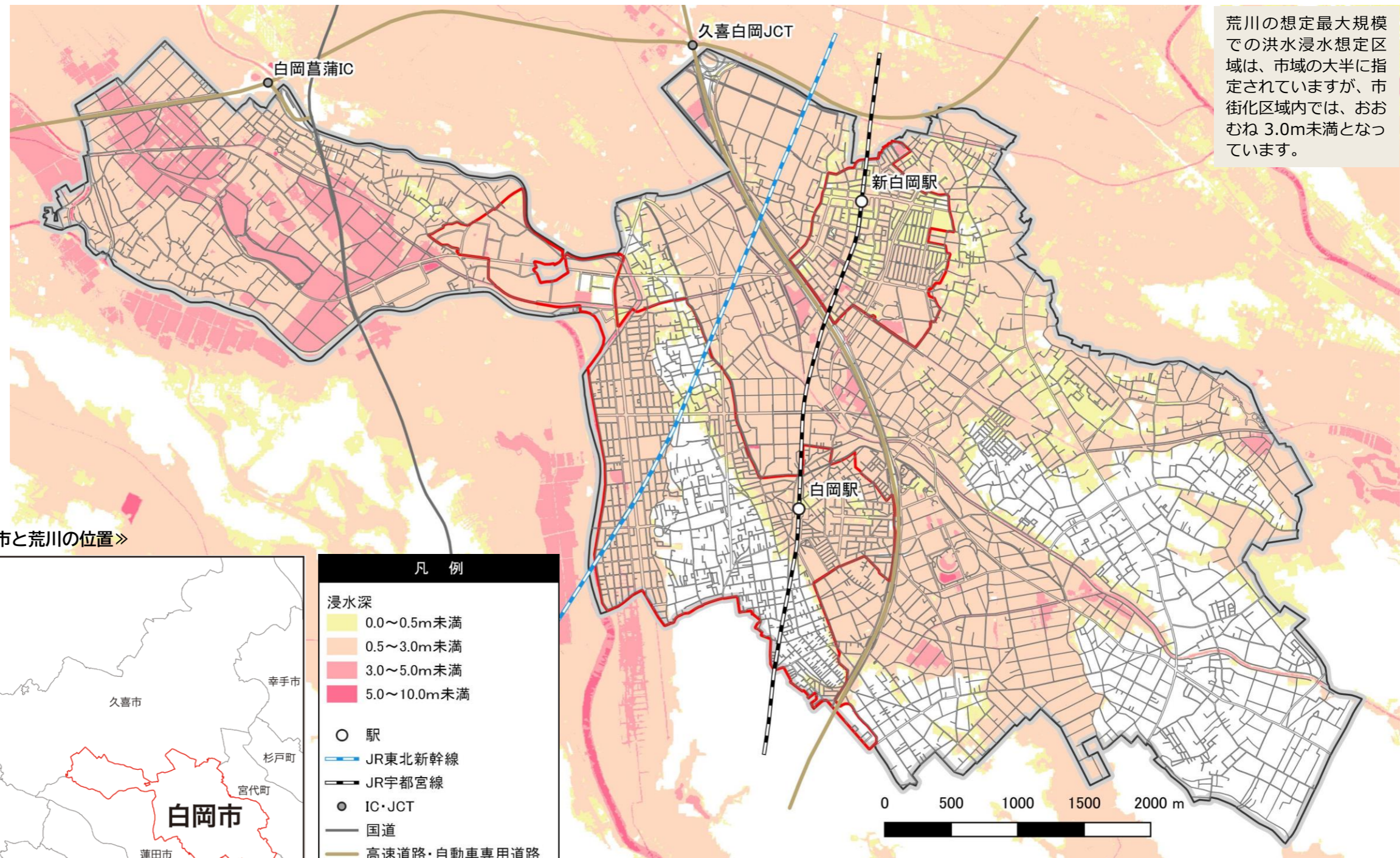


出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：利根川水系小山川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所）



《C 荒川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



荒川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、市域の大半に指定されていますが、市街化区域内では、おおむね 3.0m未滿となっています。

《白岡市と荒川の位置》



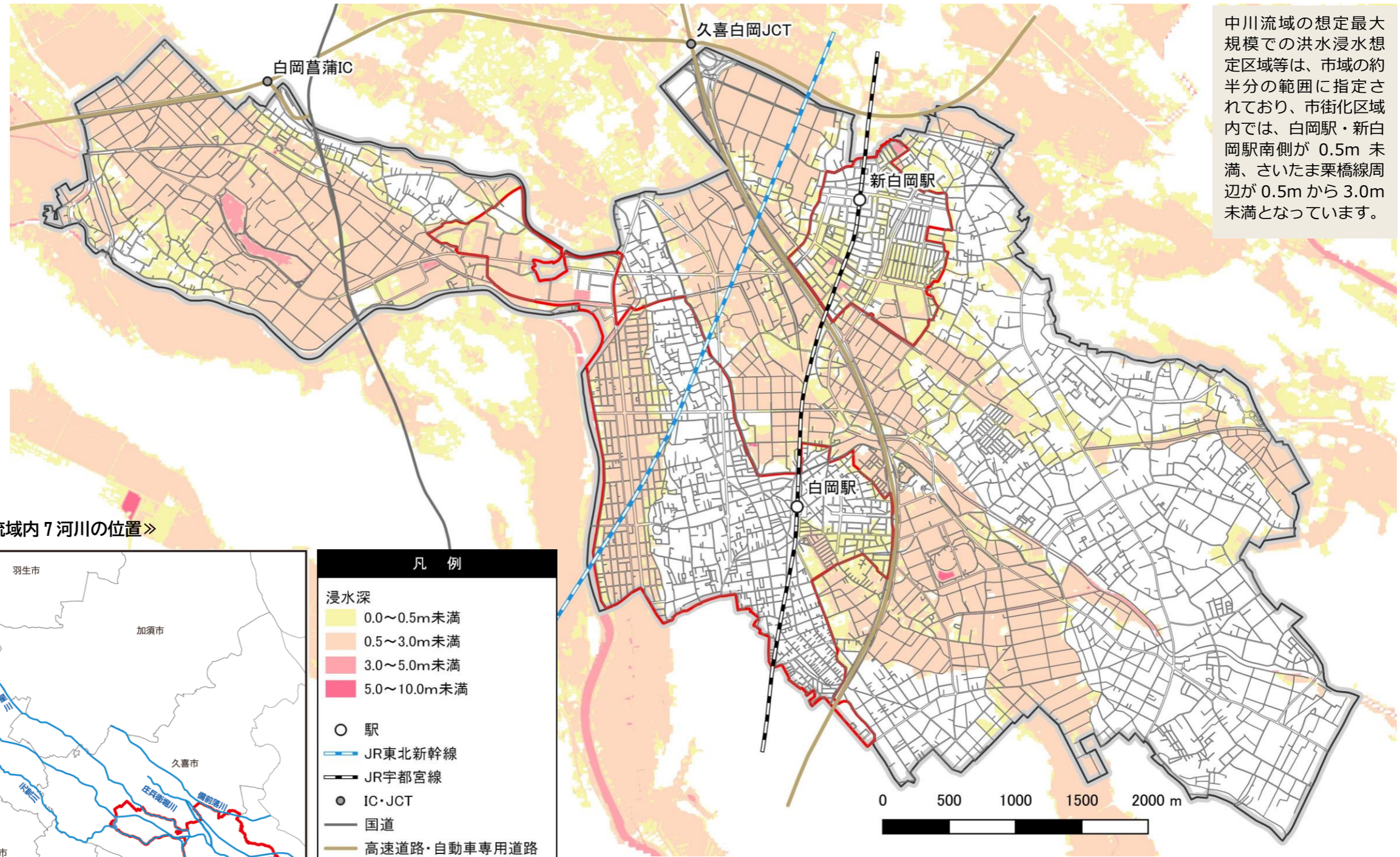
凡例	
浸水深	
0.0~0.5m未滿	(Lightest color swatch)
0.5~3.0m未滿	(Light orange swatch)
3.0~5.0m未滿	(Red swatch)
5.0~10.0m未滿	(Darkest red swatch)
○ 駅	(Circle symbol)
— JR東北新幹線	(Blue dashed line symbol)
— JR宇都宮線	(Black dashed line symbol)
● IC・JCT	(Circle with dot symbol)
— 国道	(Grey line symbol)
— 高速道路・自動車専用道路	(Brown line symbol)
□ 市街化区域	(Red outline symbol)
□ 行政区域	(Grey outline symbol)

出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）



《D 中川流域の想定最大規模での洪水浸水想定区域等》



中川流域の想定最大規模での洪水浸水想定区域等は、市域の約半分の範囲に指定されており、市街化区域内では、白岡駅・新白岡駅南側が 0.5m 未満、さいたま栗橋線周辺が 0.5m から 3.0m 未満となっています。

《白岡市と中川流域内 7 河川の位置》



凡例	
浸水深	
0.0~0.5m未満	(Light Yellow)
0.5~3.0m未満	(Orange)
3.0~5.0m未満	(Red)
5.0~10.0m未満	(Dark Red)
○	駅
—+—	JR東北新幹線
—+—	JR宇都宮線
●	IC・JCT
—	国道
—	高速道路・自動車専用道路
□	市街化区域
□	行政区域

出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

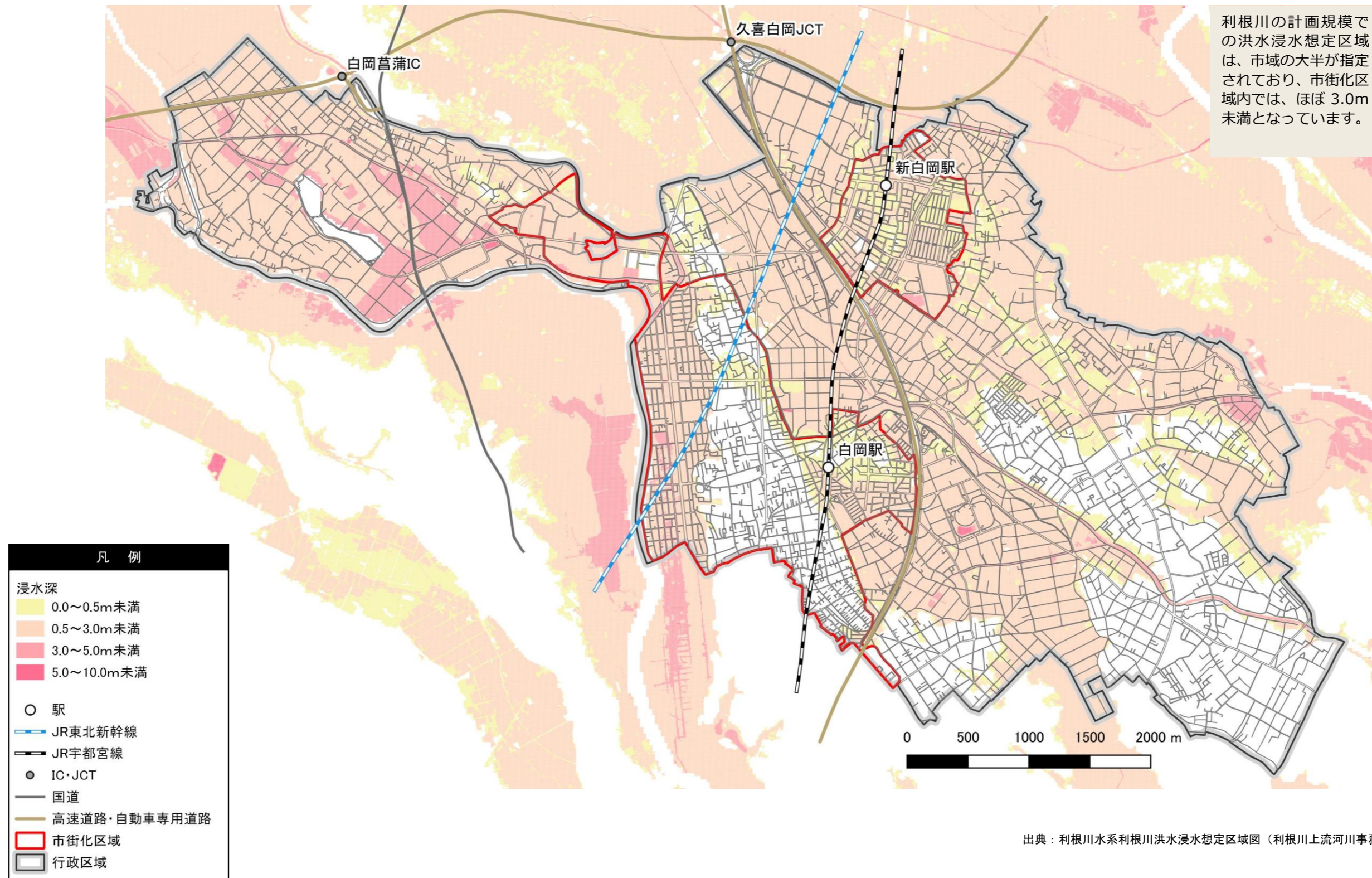
出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・災害リスク情報図（埼玉県）



## 2) 洪水浸水想定区域等（浸水深：計画規模）

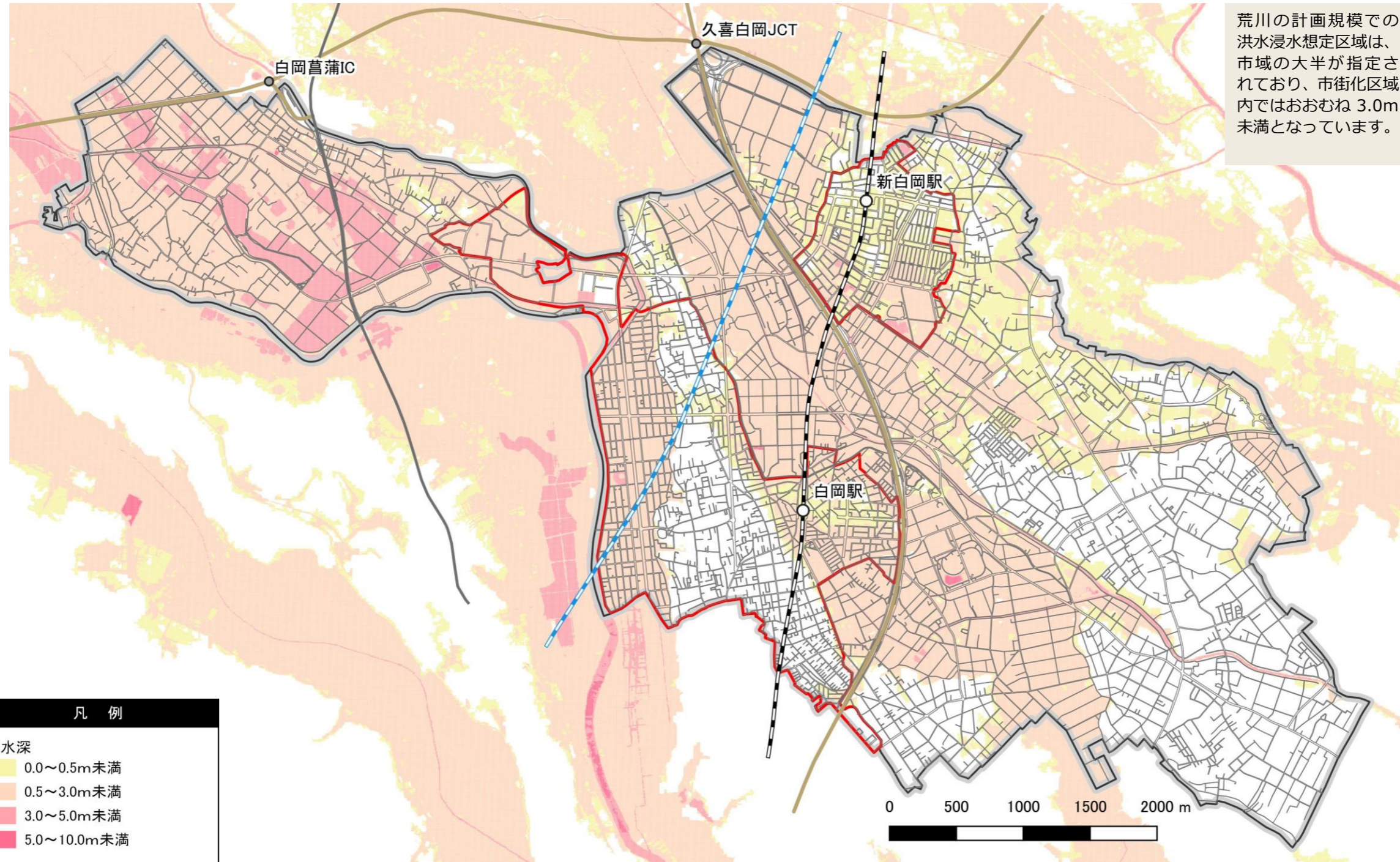
本市が対象となる計画規模降雨での洪水浸水想定区域等は、利根川、荒川、中川流域が指定されています。最も範囲の広い利根川では、想定最大規模よりも浸水の範囲は若干狭くなるものの、市域の大半が含まれています。市街化区域内はほぼ3.0m未満となっておりますが、さいたま栗橋線周辺の一部は3.0mから5.0m未満となっております。

《A 利根川の計画規模での洪水浸水想定区域》





《C 荒川の計画規模での洪水浸水想定区域》



荒川の計画規模での洪水浸水想定区域は、市域の大半が指定されており、市街化区域内ではおおむね 3.0m 未満となっています。

凡例

浸水深

- 0.0~0.5m未満
- 0.5~3.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 5.0~10.0m未満

○ 駅

— JR東北新幹線

— JR宇都宮線

● IC・JCT

— 国道

— 高速道路・自動車専用道路

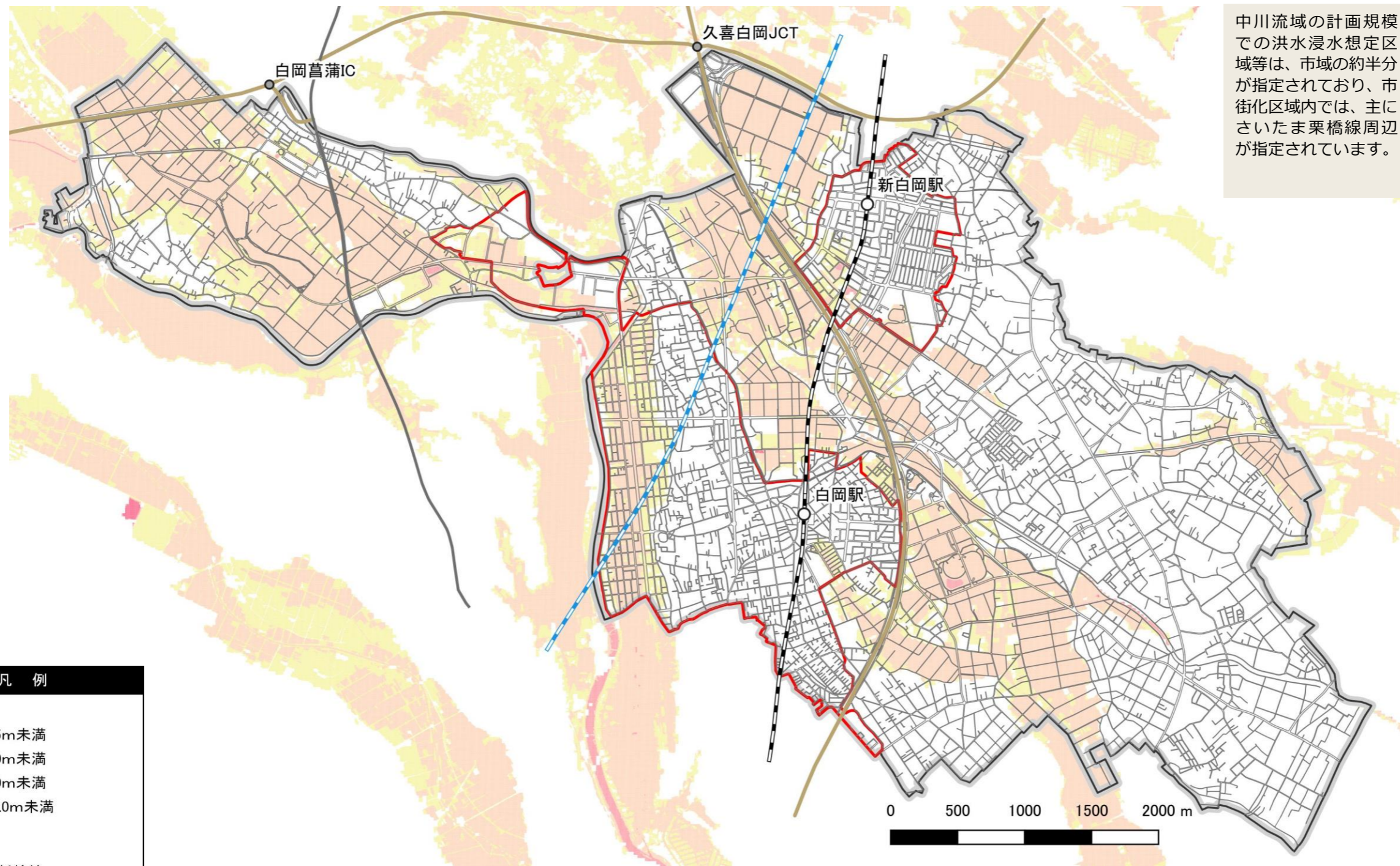
市街化区域

行政区域

出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）



◀D 中川流域の計画規模での洪水浸水想定区域等▶



中川流域の計画規模での洪水浸水想定区域等は、市域の約半分が指定されており、市街化区域内では、主にさいたま栗橋線周辺が指定されています。

凡 例	
浸水深	
0.0~0.5m未満	（黄）
0.5~3.0m未満	（橙）
3.0~5.0m未満	（赤）
5.0~10.0m未満	（深赤）
○ 駅	
— JR東北新幹線	
— JR宇都宮線	
● IC・JCT	
— 国道	
— 高速道路・自動車専用道路	
□ 市街化区域	
□ 行政区域	

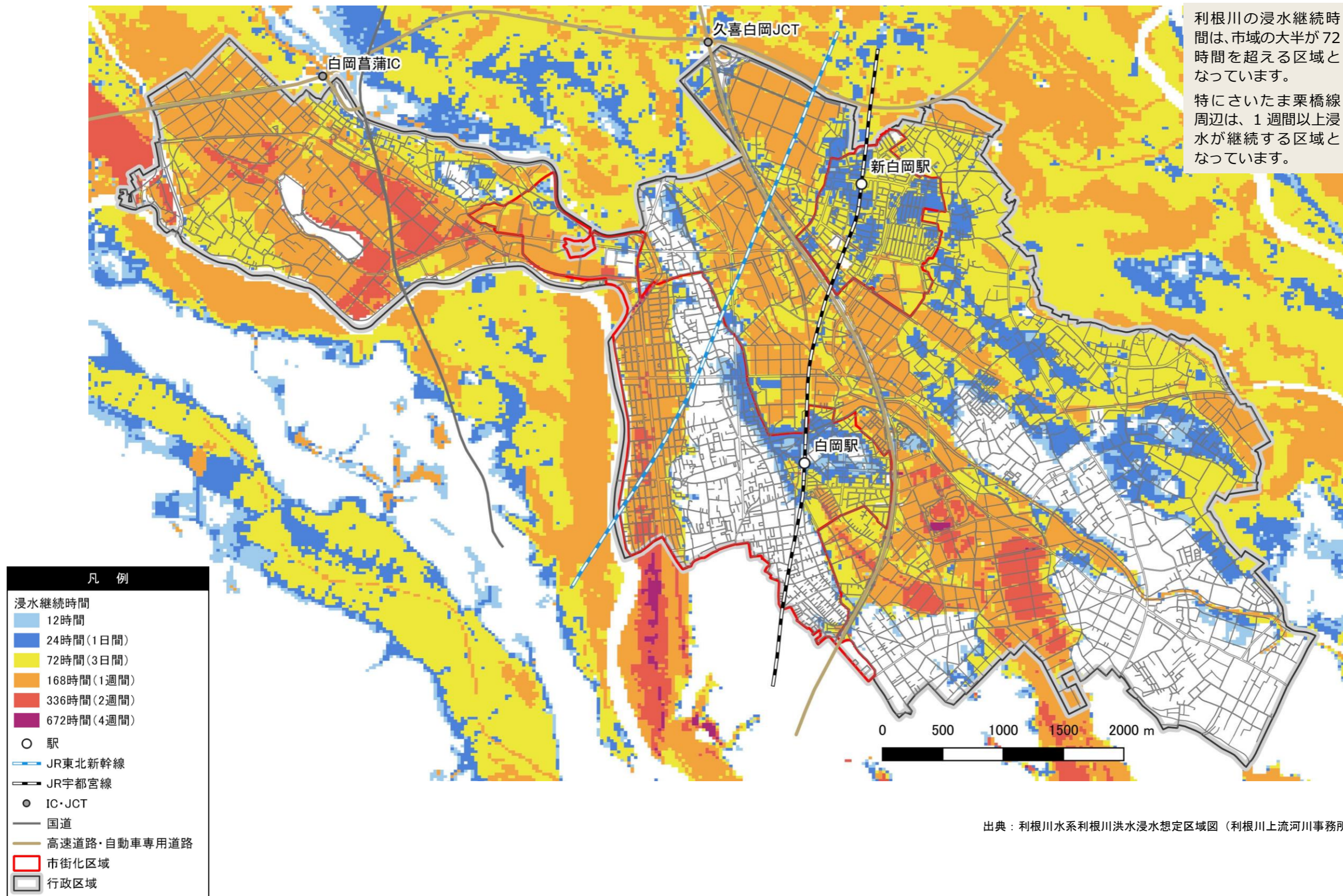
出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・災害リスク情報図（埼玉県）



### 3) 洪水浸水想定区域（浸水継続時間：想定最大規模）

浸水継続時間は、氾濫水到達後、一定の浸水深（0.5mを基本）に達してからその浸水深を下回るまでの時間です。最も範囲の広い利根川の浸水継続時間は市域の大部分が、飲料水や食料等の不足による健康障害の発生や生命の危機が生じるおそれがあるとされる浸水継続時間72時間（3日間）以上の区域となっています。特にさいたま栗橋線周辺は、1週間以上、浸水が継続する区域となっています。

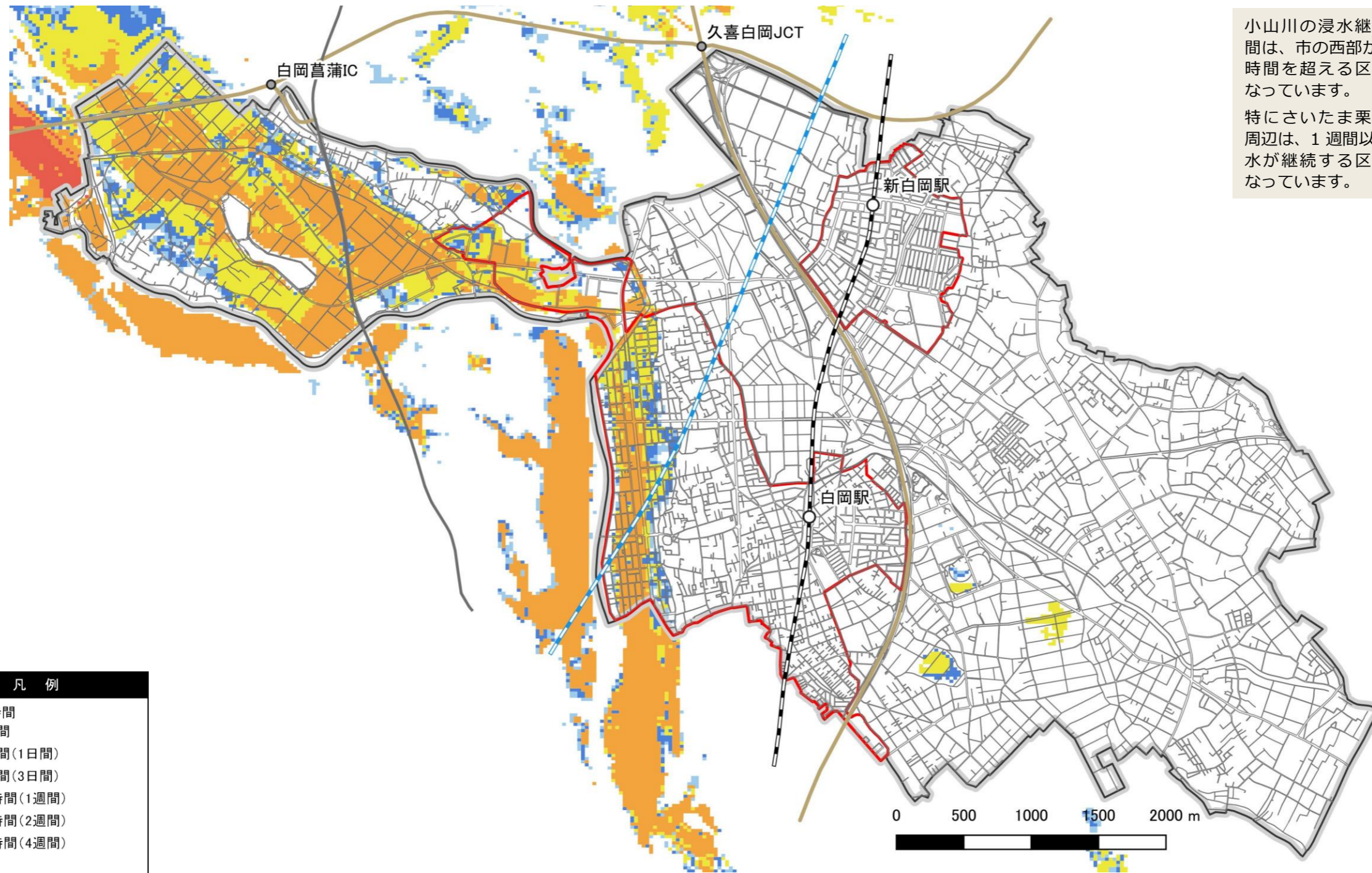
「A 利根川の浸水継続時間」



出典：利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所・利根川下流河川事務所）



《B 小山川の浸水継続時間》



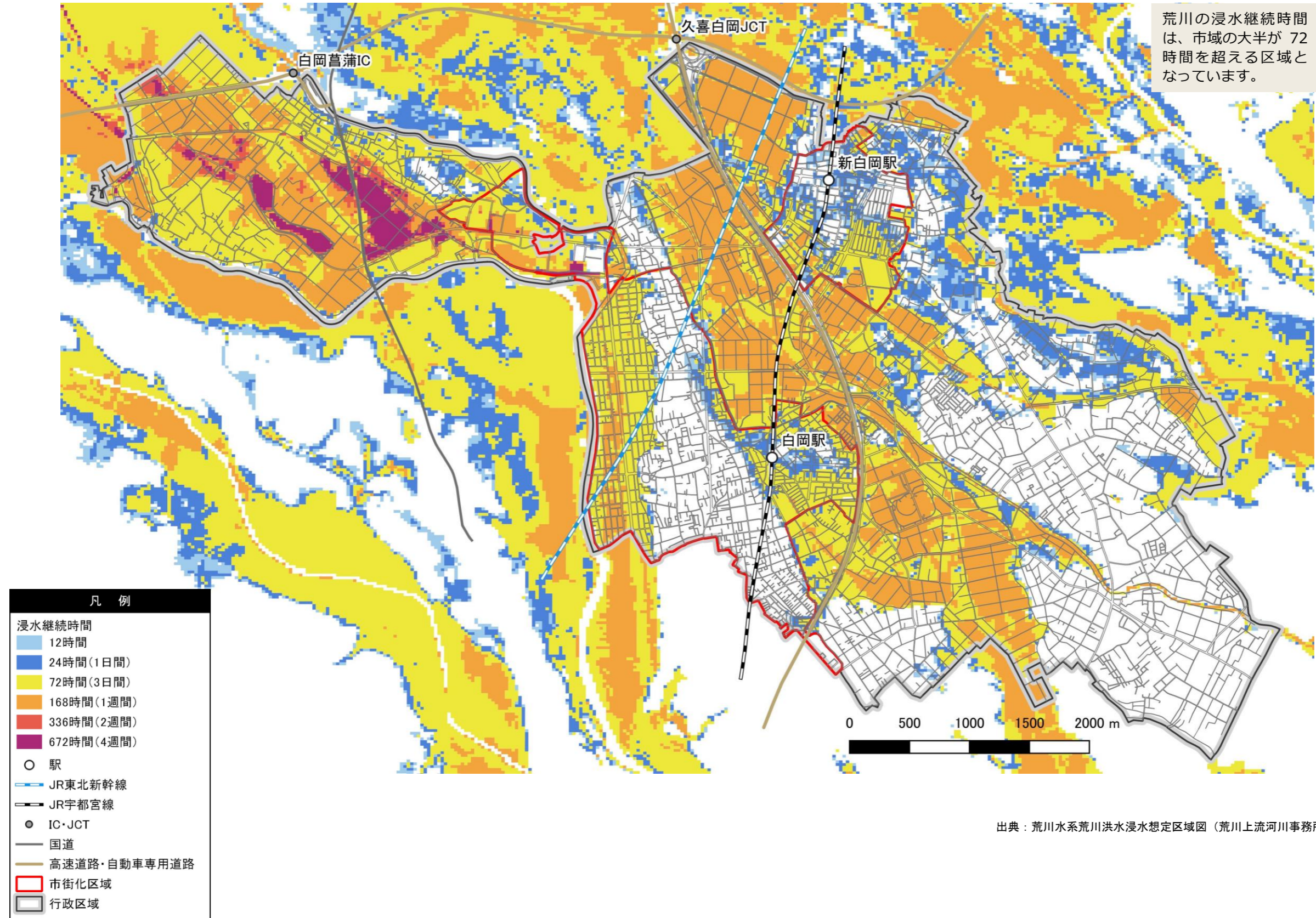
小山川の浸水継続時間は、市の西部が 72 時間を超える区域となっています。  
特にさいたま栗橋線周辺は、1 週間以上浸水が継続する区域となっています。

- 凡 例**
- 浸水継続時間
  - 12時間
  - 24時間(1日間)
  - 72時間(3日間)
  - 168時間(1週間)
  - 336時間(2週間)
  - 672時間(4週間)
  - 駅
  - JR東北新幹線
  - JR宇都宮線
  - IC・JCT
  - 国道
  - 高速道路・自動車専用道路
  - 市街化区域
  - 行政区域

出典：利根川水系小山川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所）



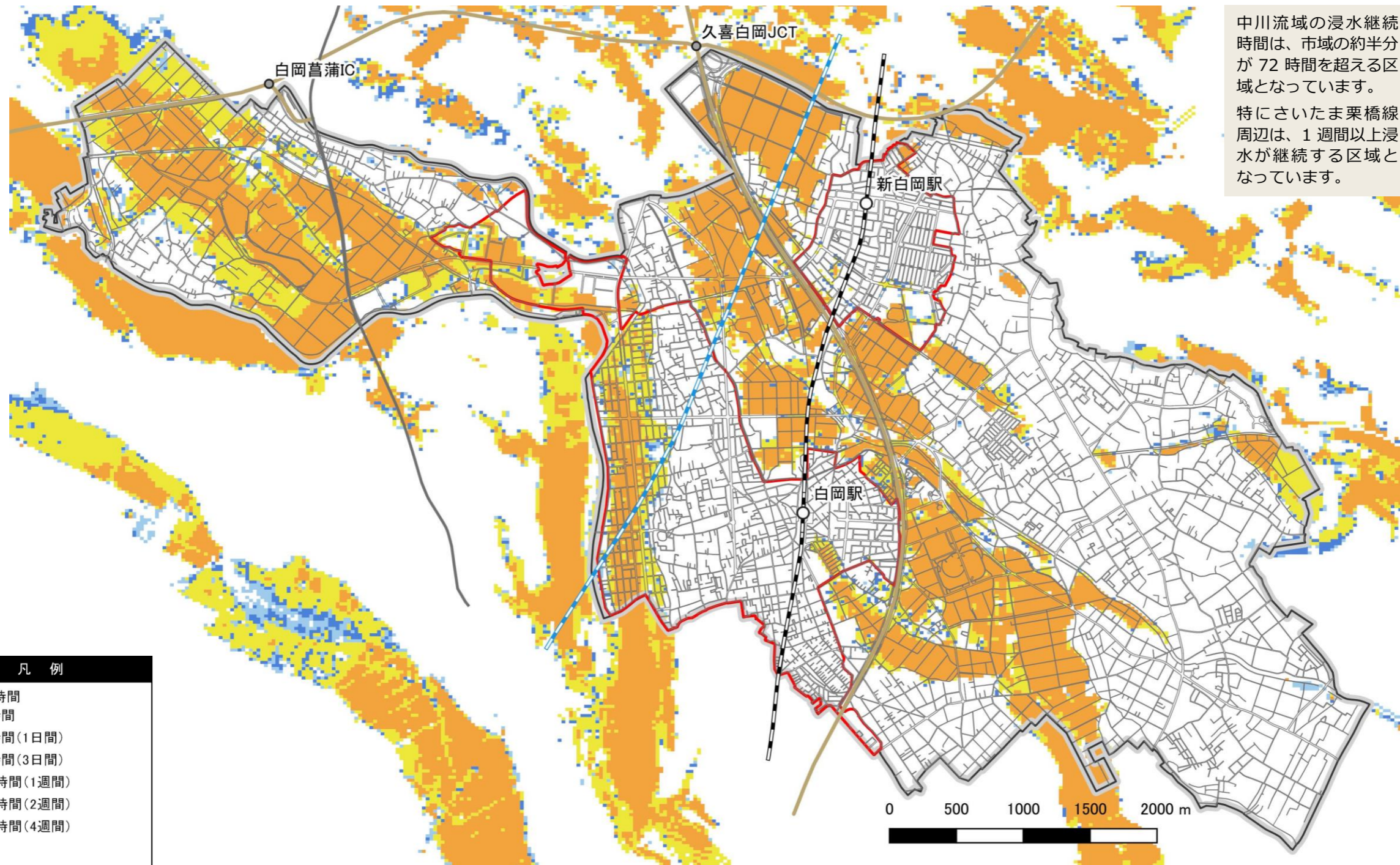
《C 荒川の浸水継続時間》



出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）



《D 中川流域の浸水継続時間》



中川流域の浸水継続時間は、市域の約半分が72時間を超える区域となっています。  
特にさいたま栗橋線周辺は、1週間以上浸水が継続する区域となっています。

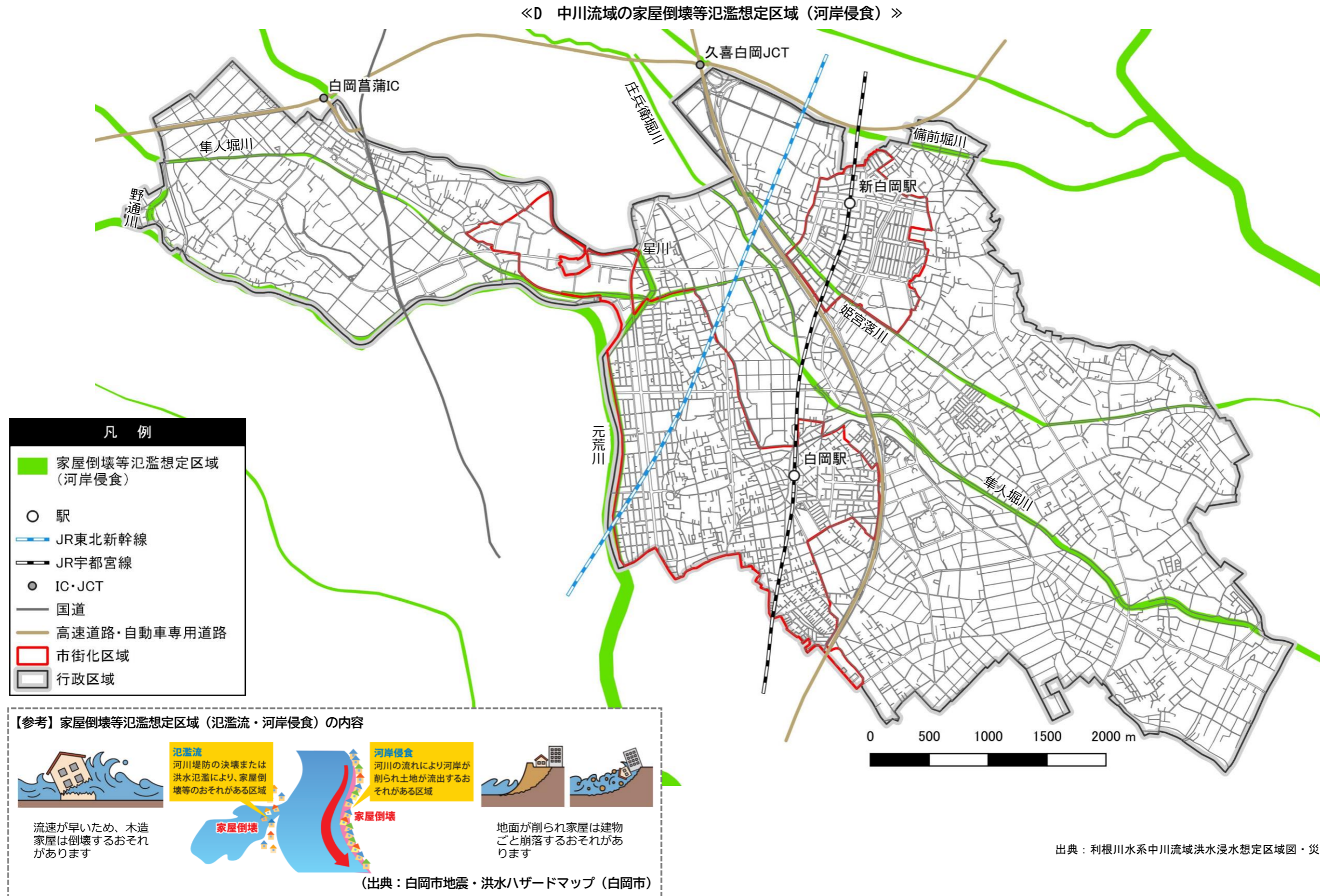
凡例	
浸水継続時間	
12時間	(Blue square)
24時間(1日間)	(Dark blue square)
72時間(3日間)	(Yellow square)
168時間(1週間)	(Orange square)
336時間(2週間)	(Red square)
672時間(4週間)	(Purple square)
○ 駅	
— JR東北新幹線	
— JR宇都宮線	
● IC・JCT	
— 国道	
— 高速道路・自動車専用道路	
□ 市街化区域	
□ 行政区域	

出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・災害リスク情報図（埼玉県）



#### 4) 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域である家屋倒壊等氾濫想定区域は、中川流域の洪水浸水想定区域等において、河岸侵食が指定されています。市街化区域内では、元荒川、星川、隼人堀川、姫宮落川沿いが指定されています。

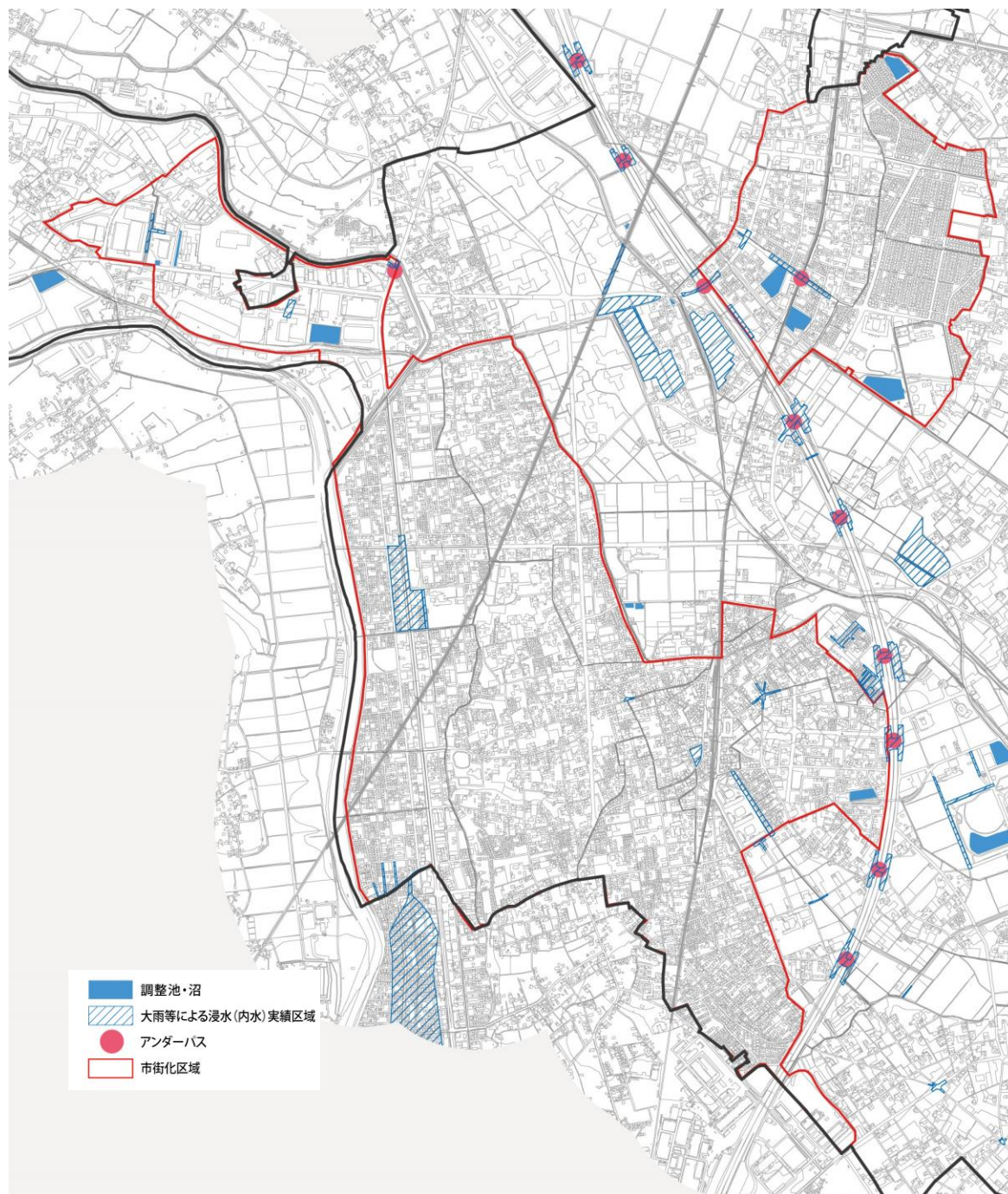




## (2) 内水

大雨等による内水による浸水（下水道の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水）は、市街化区域内では、白岡駅周辺や西地区の一部、アンダーパスなどで発生しています。

### 《浸水（内水）実績》



出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）



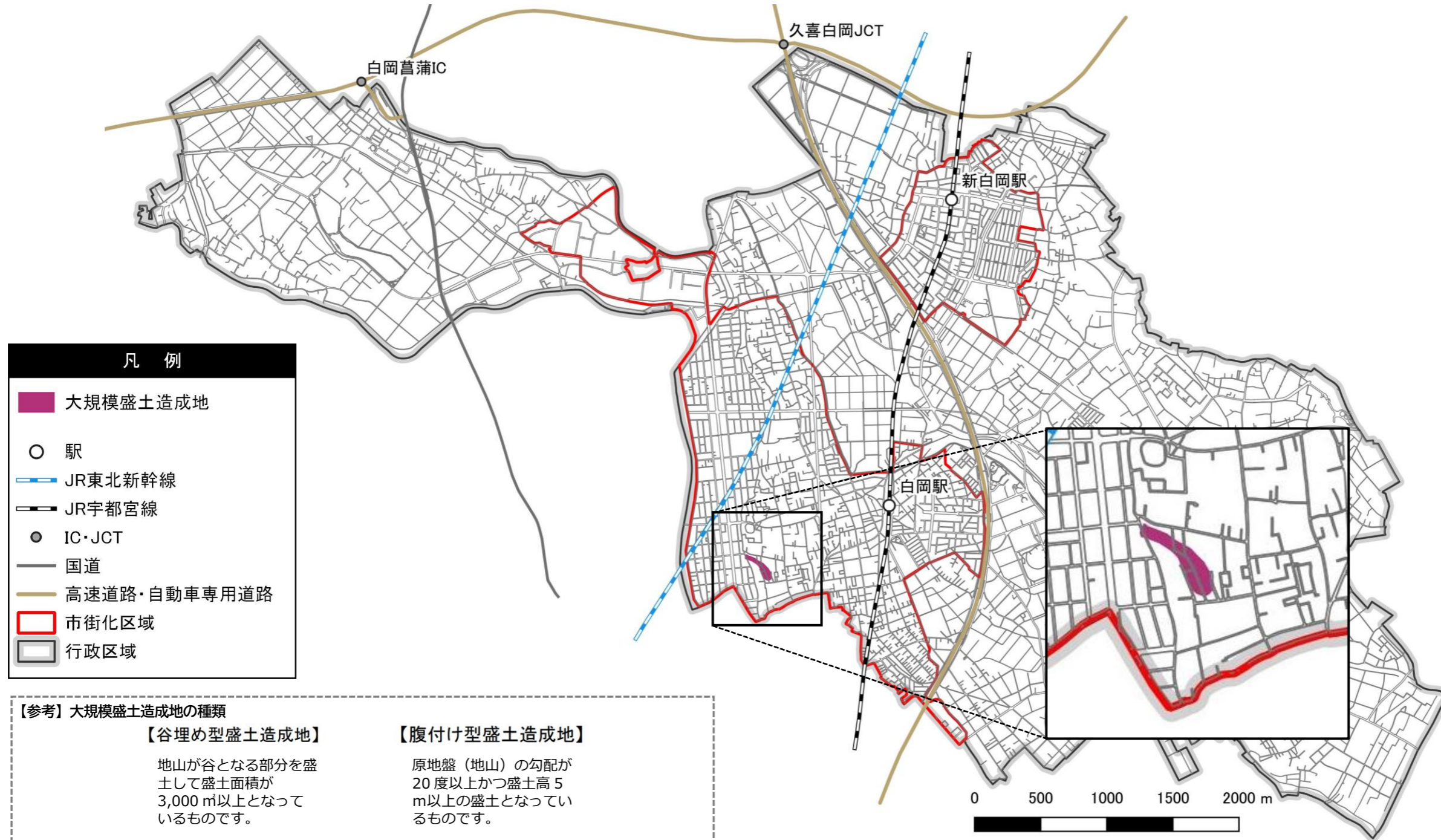




### (3) 盛土

市内には、大規模盛土造成地が1か所あり、谷埋め型盛土造成地となっています。

《大規模盛土造成地》



**凡 例**

- 大規模盛土造成地
- 駅
- JR東北新幹線
- JR宇都宮線
- IC・JCT
- 国道
- 高速道路・自動車専用道路
- 市街化区域
- 行政区域

**【参考】大規模盛土造成地の種類**

**【谷埋め型盛土造成地】**

地山が谷となる部分を盛土して盛土面積が3,000㎡以上となっているものです。

**【腹付け型盛土造成地】**

原地盤（地山）の勾配が20度以上かつ盛土高5m以上の盛土となっているものです。

(出典：大規模盛土造成地マップ（埼玉県ホームページ）)

※大規模盛土造成地とは、面積3,000平方メートル以上の谷埋め盛土、または原地盤の勾配が20度以上かつ盛土高5m以上の腹付け盛土がなされた造成地をいいます。大規模盛土造成地全てが、地震時に危険というわけではありません。

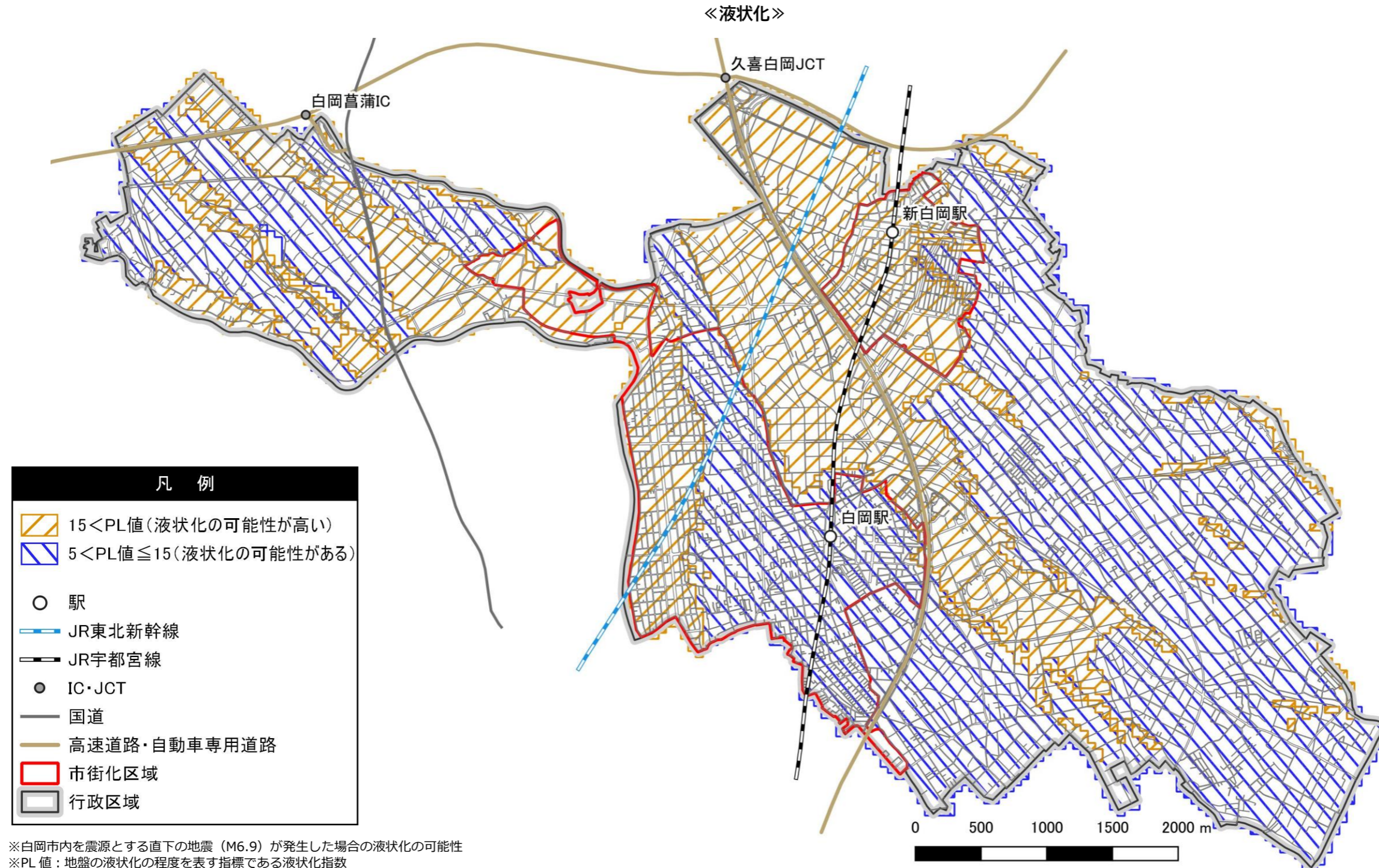
出典：大規模盛土造成地マップ（埼玉県ホームページ）



## (4) 地震

### 1) 液状化

地震が起きた際に液状化の可能性が高い地域は、市の中心部や西部地域が多く、市街化区域内をみると、新白岡駅周辺やさいたま栗橋線周辺となっています。



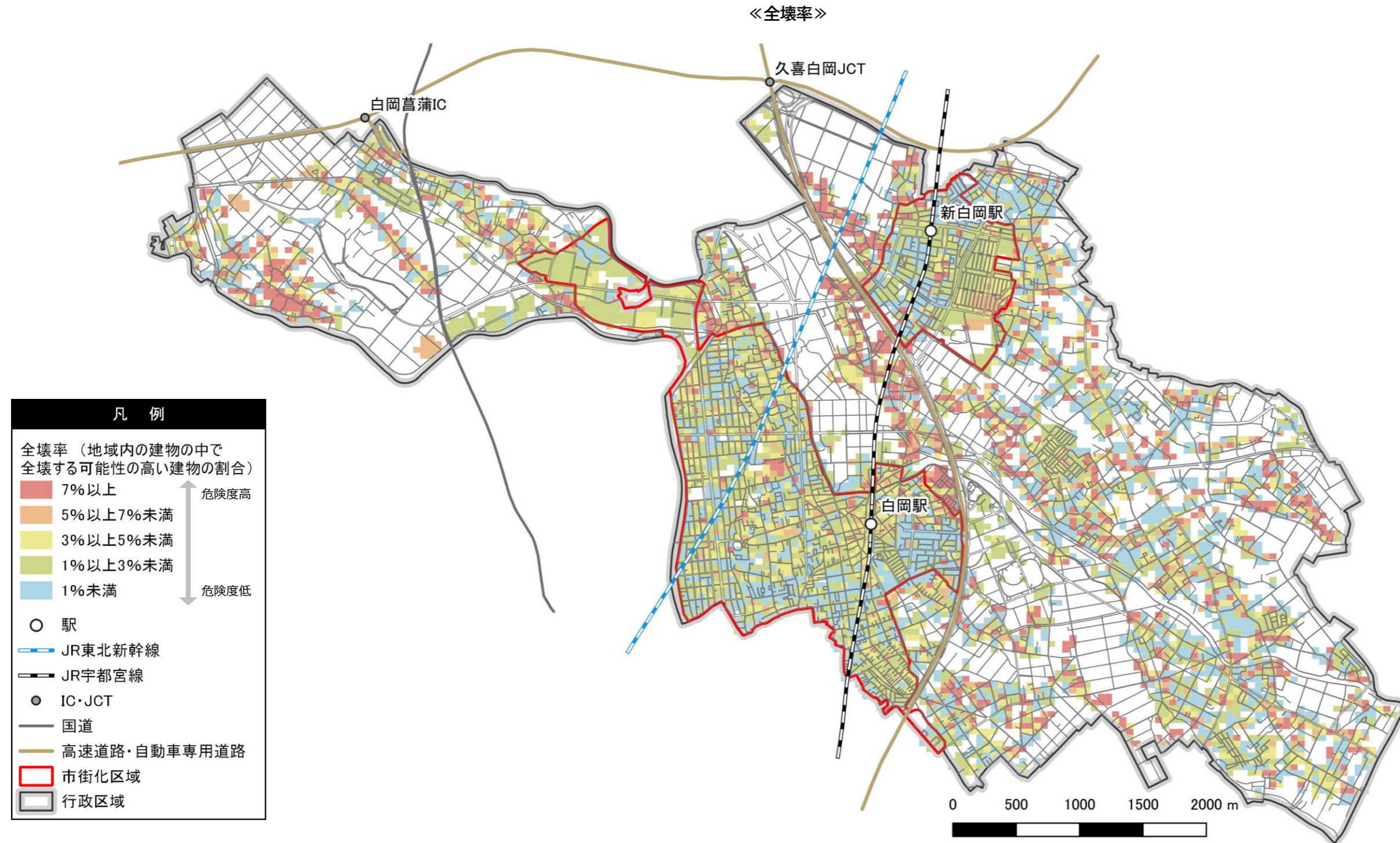
※白岡市内を震源とする直下の地震(M6.9)が発生した場合の液状化の可能性  
 ※PL値：地盤の液状化の程度を表す指標である液状化指数  
 PL値=0 液状化の可能性が極めて低い  
 0<PL値≤5 液状化の可能性は低い  
 5<PL値≤15 液状化の可能性がやや高い  
 15<PL値 液状化の可能性が高い

出典：揺れやすさ・液状化マップ(白岡市 令和4年(2022年)4月)



## 2) 全壊率（地域内の建物の中で全壊する可能性の高い建物の割合）

地震が起きた際の建物の全壊率は、市街化調整区域では全壊率が7%以上の危険度が高い地域が散在していますが、市街化区域内では比較的危険度が低い地域が多くなっています。



※震度（M6.9）と建物構造（木造・非木造）、建築年次別の建物棟数（平成29年（2017年）1月1日現在）から、全壊する建物の割合（全壊率）を算出して、50mメッシュごとに、5段階の危険度として示したものを。

出典：地域の危険度マップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）



